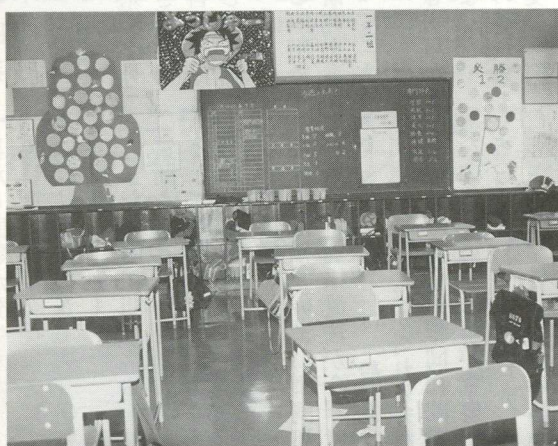
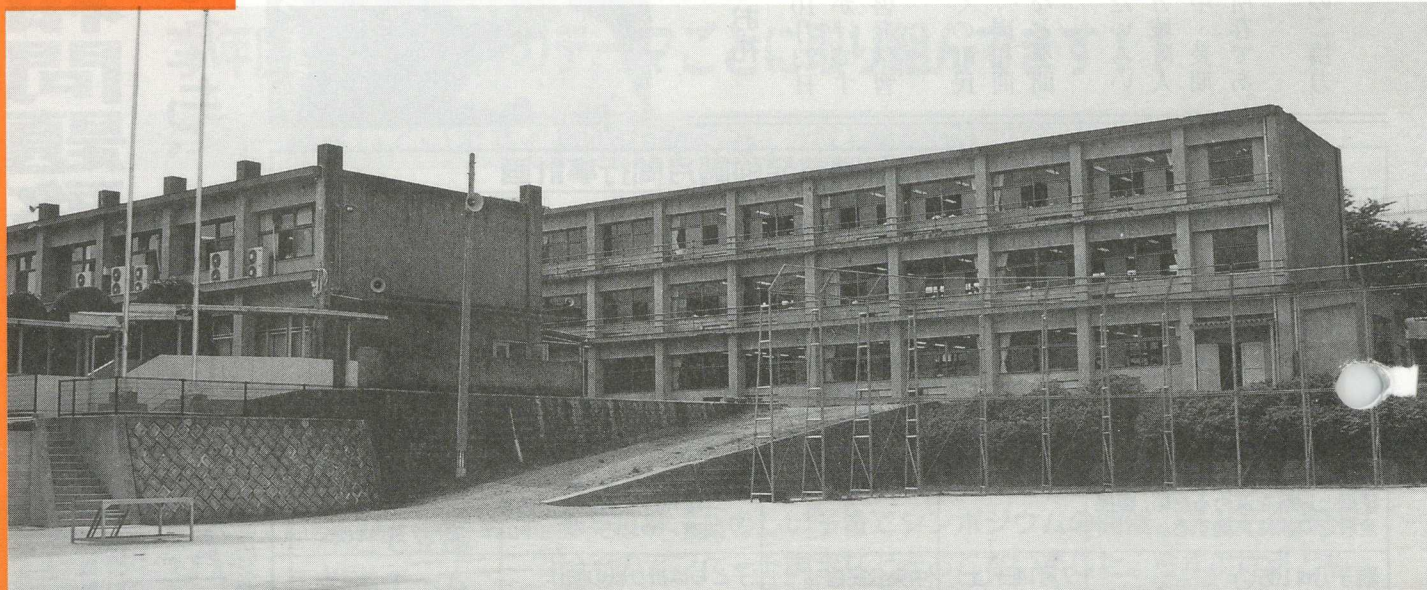


ほうじょう



さようなら、旧校舎

方城中学校は、校舎の老朽化に伴って全面改築することになりました。

現在の校舎は昭和46年に建てられたもので、町民の皆様の多くがこの校舎から羽ばたかれたのではないのでしょうか。それぞれの青春時代の思い出詰まった校舎ともお別れです

2001年(平成13年)7月 第218号

町の人口

(平成13年5月末日)

男	3,776人
女	4,193人
計	7,969人
世帯数	2,949世帯

方城町福祉総合計画 その⑫

2年目に突入!!

住民創造型による福祉のまちづくり!
今年度もそれぞれのテーマごとに取り組んでいます!!

メンバー募集しています!!興味がある方、ぜひ顔を出してください!

障害者
プラン
推進チーム

(テーマ) 障害者が気軽に集える場所づくり

会議は月に2回くらい(第1、第3木曜日夜)です!昨年度は共同作業所に研修に出かけました。また、障害者が気軽に集える場所についてアンケート調査も実施しました。今年度は具体的に場をつくっていきたいです!楽しく進めていきたいと思っています。

子育て
子ども支援
推進チーム

(テーマ) 児童館について考える

昨年度は、たのしい子育てシンポジウムの開催、子どもの遊びについてのアンケート調査などをおこないました。今年度は子どもの居場所や育ての悩みを考えながら、児童館について考えます!会議は毎月2回(昼)です。

(テーマ) 常会活動の活性化

基礎計画チームはまちづくりの土台となる地域づくりを進めます。現在のテーマは常会活動の活性化!昨年アンケート調査を実施しました。身近な地域で無理なく助け合いながら福祉のまちの地盤を築きます!会議は月に1回(不定期)です。

基礎計画
推進チーム

(テーマ) 総合相談窓口について検討する

福祉サービスに関して、誰もがどんなささいなことも気軽に相談や話に行くことができるような窓口、また、受けた相談が解決の糸口を得ることができるように対応していく窓口が必要ではないかと考えています!会議は月に2~3回(夜)です!

福祉サービスの
相談
グループ

いきがい対策
グループ

(テーマ) ミニデイサービスの充実、いきがい支援

地域で行われているミニデイサービスの充実を考えています。地域のボランティアについても検討しています。去年はグループホームの研修などに行きました。会議は月に2回くらい(昼)です。



がんばっとるのう



お問い合わせ先 保健福祉センター (電話) 22-5101まで

7月は同和問題啓発強調月間です。

あなたも、参加しませんか!



あなたを見て、育ち、
今さらながらの気づき、人から学ぶ

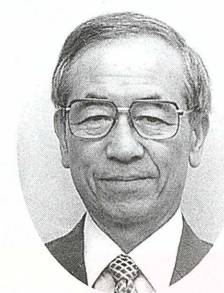
同和对策室より
地区啓発学習会のお礼

方城町では、平成12年10月23日から平成13年4月17日にかけてすべての常会に対し、地区啓発学習会を開催いたしました。
おかげをもちまして多くの町民の皆様にご参加いただき、同和問題に対する様々なご意見などを聞くことが出来ました。
学習会の中で寄せられたいろいろな意見を参考に、今後方城町人権と福祉のまちづくり、中・長期プランの策定に役立てる所存であります。
今後とも、町民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

平成13年度 同和問題啓発強調月間行事計画

行事及び行事概要	行 事 内 容	
	実施月日	場 所
街頭啓発	7月2日(月)	方城スーパー 日立マクセル 農協方城支所 三浦製作所 外 町内企業等6ヶ所
県主催 同和問題講演会	7月11日(水) 13:00~16:00	田川文化センター 田川市平松町 3-36
親子ふれあい おりがみと映画の集い	7月14日(土) 10:00~11:30	中央公民館
ヒューマンスクリーン テレビ放映	7月25日(水) 16:00~16:55 TNCテレビ西日本	
町主催 同和問題講演会	7月31日(火) 19:00 受付 19:30 開演	方城町 社会福祉会館

昨年の4月8日発覚の県道419号線における部落差別落書き事件等についての、地区啓発学習会に助言者として参加した者として、感想を述べます。
私は、ライフワークである田川地区の石炭産業と地域史の研究を進めており、その中で、かつて「方城町部落解放調査研究会」の一員として、方城町域の歴史を明らかにする作業に参画していました。そのご縁もあって、今回の差別事件の確認直後から連絡を受け、例えば方城町職員の皆さんの研修会に問題提起をする等かかわってききました。
昨年10月の弁城地区の懇談会、今年に入ってから2月から4月にかけての伊方地区の啓発学習会など都合14常会に参加しました。
班編成の上、分担して各常会に参加しましたが、私の印象としては、班の代表となつて内容の報告や説明を担当した課長さんの町の責任者としての決意と今後の啓発の取り組みへの真摯な姿勢は、参加した住民の皆さんには十分に伝わったのだと思います。
次に、参加者の大勢は、内容の重要性に深まりや理解を示され



安藤龍生さん

たと感じました。多くの方から、方城町域での、部落差別事件が再発しない願いと決意も発言されました。問題が発生した時の取り組みに限らず、今後は人権の町づくりに住民の総意で取り組む方向性も出たと思います。
また、同和問題全体への率直な質問もありました。私が大事な点として受け止めたのは、町内での同和問題や同和对策事業の現状が、的確に知らされていないという事です。いよいよ同和对策のための特別措置法が今年度末で終了、必要なことは一般対策の中で、問題の解決ははかられる段階となつた今、町民全体で同和問題の現状を共通認識する事が重要だと感じました。
さらに、日常の町内活動の不分さや、町当局への不信や不満も問題提起された事もあります。これは、参加したそれぞれの町の担当者の方々が、適宜対応や報告等をしていくはずだ。
町の総人口が8,000人を少し下回つたと聞きましたが、逆に小人数の町だからこそやれる事は多いと思います。先日の老人大学でもお願いしましたが、各年代すべての方が力を合わせる、生き活きたとした町になることは、高い可能性がある町だと思います。この事は、田川地区全体への良い影響を与えることにも繋がります。大きな期待も込めまして私の感想を終わります。

地区啓発学習会に参加して